

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1181号	氏名	Ratawan Ubalee
論文審査担当者		主査教授 新川 詔夫 副査教授 神原 廣二 副査教授 由井 克之	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、マラリア流行度と、その抵抗性遺伝子の頻度および感受性を示す遺伝子多型との関係を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 島間でマラリア流行度勾配が明白なバヌアツ諸島を研究対象地区として選択し、各島の住民において、マラリア抵抗性を示すサラセミア遺伝子の頻度および感受性を示す TNF- 遺伝子の多型を調べ、結果を統計的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 バヌアツ諸島のマラリア流行度と TNF- 遺伝子プロモータ領域内の1つのハプロタイプ頻度との間に負の相関を、またサラセミア遺伝子頻度との間に正の相関を認め、これら諸島における過去のマラリア選択圧を明らかにしたことは大きく評価される。</p> <p>以上のように本論文は、マラリア流行度の遺伝学的基盤および分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。